

自らの未来をデザインする生徒の育成

～自己理解、自己選択・自己決定、自己実現の3つのステップを踏まえたキャリアデザインを通して～



名古屋市立若宮高等特別支援学校 校長 岡部 啓
〒468-0046 名古屋市天白区古川町76番地
TEL 052-899-0538 FAX 052-899-0539
URL <https://www.nagoya-c.ed.jp/school/wakamiya-h-sh/index.html>
公式 SNS(Instagram) 【アカウント名】 wakamiya_h_sh0538



Instagram



学校ウェブサイト

事業のねらい

本校は若宮商業高等学校と併設したインクルーシブ教育推進校として、今年4月に開校しました。本校では、学校教育目標を「多様な人となつながら、新しい時代の産業人として社会に貢献できる人財を育成する。」とし、「交流しながら共に学ぶ教育」と「企業と連携した実践的なキャリア教育・職業教育」を軸とした教育活動を進めています。3年間の学校生活を通して、生徒が「なりたい自分」になるまでの過程を「自己理解」「自己選択・自己決定」「自己実現」の3段階で整理して実践に取り組んでいます。初年度にあたる今年度は、「自己理解」の段階として、自らのよさや強み、課題を理解させることで、今後の取り組みの基礎となる資質・能力を育みたいと考えました。

事業の内容

○ 生徒が自分のよさや強みに気付くための取り組み

「自立活動」の時間において、カードゲームやワークシートなどの教材を用いた自己理解につながる学習を行いました。ICT機器の活用や自己評価と他者評価を織り交ぜた評価方法の工夫等によって、生徒が自分のよさや強みなどに着目しやすくなり、自己を肯定的に捉えることができました。

○ 生徒が労働場面における自らの行いを理解するための取り組み

校内実習や専門コース体験等を通して、労働場면을想定した体験を積み重ねました。専門コース体験では、自立活動の取り組みを生かしつつ、労働場面における自らの行いを常に振り返り、キャリアパスポートとして記録し蓄積することで、中・長期的な視点からも自分の成長を実感することができました。

事業の成果

本事業を通して、「自己理解」をテーマに実践を進めてきました。生徒が自らについて、課題というマイナスの側面だけではなく、よさや強みというプラスの側面から捉えられるようになってきました。また、自己を肯定的に捉える習慣が身に付いてきたことで、クラスメイトや学年の友達など、他者に対しても肯定的な関わり(ポジティブアプローチ)をする場面が多く見られるようになりました。

事業のまとめ

自分のよさや強みに気付くことを重視した「自己理解」の取り組みが、他者を肯定的に捉えようとする姿勢につながるようになりました。これからの共生社会の中で活躍していく「人財」となる上で、これは必要不可欠な要素であると考えます。今後も生徒が自らの未来を主体的にデザインしていくことができるように指導・支援していきます。